



図 16.14 老人性色素斑 (senile lentigo, senile freckle)
類円型境界明瞭な褐色斑。一部が若干隆起して脂漏性角化症へと移行する場合がある。



図 16.15 Addison 病 (Addison's disease)

6. 老人性色素斑 *senile lentigo, senile freckle*

同義語：日光黒子 (solar lentigo)

定義・症状

ほとんどの中年以降の男女に出現する。主に顔面や手背、前腕伸側などの露光部において、類円形で大小種々の褐色斑が出現する。境界は比較的明瞭で、ときに軽い落屑らくせつを伴う (図 16.14)。一部は脂漏性角化症 (21 章 p.406) に移行する。

治療

アレキサンドライト、ルビーレーザー療法や凍結療法など。

7. Addison 病 *Addison's disease* ★

副腎皮質ホルモンの分泌低下により、下垂体前葉からの ACTH や MSH 分泌が亢進し、これがメラノサイトを刺激して色素沈着をきたす (図 16.15)。色素沈着は全身に認められるが、とくに掌紋部、膝、肘、乳輪、腋窩、外陰部に強い。舌や歯肉、口腔粘膜など生理的に色素沈着の少ない部位にも色素斑が認められ、診断に有用である。

8. 光線性花弁状色素斑 *pigmentatio petaloides actinica*

肩から上背部にかけて、数 mm ~ 1 cm 大までの花弁状～金平糖形の境界鮮明な褐色色素斑が多発する (図 16.16)。色白の人が海水浴などで水疱が生じるほどの強い日焼けをした後、1 ~ 3 か月後に多発性に出現することが多い。

9. 色素異常性固定紅斑 *erythema dyschromicum perstans, ashy dermatosis*

有色人種の体幹や四肢に小紅斑が多発し、まもなく 1 ~ 3 cm 大の灰白～灰青色斑となる。辺縁に紅斑性隆起を伴うこ

網状肢端色素沈着症 (北村)

(reticulate acropigmentation of Kitamura, acropigmentatio reticularis)

四肢末端に軽度陥凹した小褐色斑が多発し、融合して網状になる。手掌足底に点状陥凹を伴う。常染色体優性遺伝形式をとり、*ADAM10* が原因遺伝子であることが最近判明した。

